



# 佐土原ロータリークラブ週報



2004-2005 年度 R I テーマ

会 長：林 厚 雄	会 計：柳 田 光 寛
副 会 長：岩 切 正 司	会 報 委 員 長：宮 原 建 樹
幹 事：藤 堂 孝 一	

第 862 回 平成 16 年 12 月 1 日 (水)

### 本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 食 事 の 時 間
3. ロータリーソング  
「我等の生業」
4. 四つのテストの唱和
5. 会 長 の 時 間
6. 幹 事 報 告
7. 委 員 会 報 告
8. フ ォ ー ラ ム  
「家族月間にあたって」
9. 点 鐘

第 861 回の記録 平成 16 年 11 月 24 日 (水)

☆会長の時間 会 長 林 厚 雄 君

昨日は、西都クラブの 20 周年記念祝賀会に出席していただきありがとうございました。

三木ガバナーを始めとして、韓国の姉妹クラブからも大勢参加されていて、盛大に執り行われました。

また、その模様は我がクラブの 20 周年記念の計画に大変参考になりました。

今日は、ロータリー財団月間であります。

今日は、ロータリー財団の歴史について少し触れてみたいと思います。

ロータリー財団 これは一人のロータリアンの夢が現実になったものです。ロータリー財団とは、1987-88 年度の国際ロータリー会長のチャールズ・ケラー氏がこう言っています

奉仕の理想は人々をつなぐ真の絆です。奉仕とは、単に良いことをするだけでなく、人々の役にたつことです。世界では、人々が異なる言葉、食事、衣服、宗教を信奉しています。こうした人々を結び付けるには、強力な絆が必要です。ロータリーでは、その絆が超我的奉仕と言う理想なのです。他の人々の役立つ具体的活動をしているのがロータリー財団です。

ロータリー財団の生みの親は R I 会長 6 人目のアーチ・クランプです。1917 年の国際大会でクランプが、「ロータリーが基金をつくり、世界的な規

模で慈善、教育、社会奉仕の分野で、何か良いことをしようではないか」と提案しました。(非常時基金) その数ヶ月後に、この基金にミズーリ州カンザス・シティー RC から 26 ドル 50 セントの最初の寄付金を受け取りました。これは、クランプ会長の記念品の購入資金でした。しかし、ミズーリの人たちは、記念品の代わりに、この基金に寄付することを決定しました。次の寄付はほどなくサンフランシスコ RC から寄せられました。この基金がやがてロータリー財団に発展していくその過程の出来事です。

1928 年の国際大会でこの基金はロータリー財団と改名され国際ロータリー内の個別の存在になりました。当時、管理委員であったアーチ・クランプは「我々はこの財団を今日明日の時点ではなく、何年、何世代の尺度で見つめるべきです。なぜなら、ロータリーは幾世紀にもわたる運動だからです。」

ロータリーはまもなく、100 年を経過し第 2 世紀に入ろうとしています。まさに幾世紀にもわたる運動になるうとしています。

1928 年にアーチ・クランプが思い描いたこのプログラムの多くは現在、奨学金、研究グループ交換などの形で生き続けています。

(ポリオ、GSE、災害見舞金)



アーチ・クランプ氏

例会場：石 崎 浜 荘 0985-73-1913 事務局：〒880-0211 宮崎郡佐土原町大字下田島 20614-29

例会日：毎週水曜日 12:30 ~ 13:30 TEL: 0985-73-7170 FAX: 0985-73-7170

